Hayama Town Council News No.161

はやま議会だより

葉山町議会

7月1日　葉山町海水浴場開き・海上保全祭

2025.8.2

新たな議会に

議長あいさつ

土佐 洋子

第50代議長に就任いたしました土佐洋子でございます。大変光栄に存じるとともに、職責の重さを改めて痛感いたしております。

通年議会

通年議会がスタートいたしました。メリットは、閉会期間がなくいつでも本会議を招集できること、災害時などの緊急対応が迅速に行えること、また、専決処分が減少するため議会の監視機能が強化されることです。さらに、十分な審査時間が確保されるため、議会運営の充実・活性化につながります。

主権者教育

若い世代が政治に無関心ではなく、自分ごととしてとらえ、未来の担い手となっていくために、主権者教育の充実を図ります。町内の学校との連携などで、政治への関心を育む環境を整えられればと思います。

手話言語条例

町政はすべての人に開かれたものでなければなりません。その第一歩として、手話言語条例の制定を推進したいと思います。手話を言語として正しく位置づけ、聴覚障がいのある方々の権利と尊厳を守ることは、町の多様性を尊重することにつながります。

また、日本で初めて開催される「東京2025デフリンピック」には、町内からも代表選手が出場しますので、町をあげて応援したいと思います。

議長あいさつ ホームページ

デフリンピック ホームページ

シチリア島でのウィンドサーフィン世界大会で優勝後、大学在学中にプロに転向。海上パトロールは日課。手話はライフワーク。

土佐 洋子

副議長あいさつ

窪田 美樹

議会は、住民に一番近い政治の場であり「住民の福祉と暮らしを守る」役割があります。

多様な意見が議論され「町民が主人公」となる町議会を目指します。

監査委員あいさつ

石岡 実成

いただいた機会を無駄にすることなく、その職責の重さを真摯に受け止め、誠実かつ公正に努めてまいります。

議会運営委員会

議会広報常任委員会

クリーンセンター再整備に関する特別委員会

全議員で構成します。

委員長 金崎ひさ
副委員長 笹本貢史

※議長はオブザーバーとして全委員会に出席します。

総務建設常任委員会

所管は財政・総務・都市経済・消防など

荒井 直彦 委員長

平成25年にわな猟の免許を取得し、仲間と共にイノシシ対策に取り組んで10年。今後も安心安全の町を目指します。

中村 和雄 副委員長

登山と野球は卒業。今は、週1～2回の水泳と時折の自転車。町民スキーに来年も参加したい！

星 加代子

元保護犬のすばる、ラブラドールのダイと森戸海岸、湘南国際村、南郷上ノ山公園などをお散歩兼パトロールです。

石岡 実成

55歳。趣味は料理、ゴルフ、ドライブ、スポーツ観戦。町民の町民による町民のための政治を具現化します。

金崎 ひさ

ご招待を受け、海を楽しんでいます。「福祉」という言葉を使わなくても「福祉」が当たり前になる町を目指します。

笠原 俊一

剣道（7段）は水・金の夕方、葉山小学校体育館で指導。居合道（6段）は月・土に長柄小学校体育館で稽古。生徒募集中。

近藤 昇一

長柄神輿会に所属しています。お酒なしで全力担ぎ派です。神輿ダコも。声と気合だけで盛り上げています。

教育民生常任委員会

所管は福祉・環境・教育など

待寺 真司 委員長

息抜きにカラオケで熱唱。十八番は河島英五「時代おくれ」。温泉に浸かり英気を養い、スポーツ観戦や街歩きが好き。

三浦 大輝 副委員長

2歳になった息子と全力で遊ぶ、賑やかな毎日です。八百屋時代の経験で、家では果物と野菜の目利き担当。

笹本 貢史

神社仏閣巡り等の旅行、読書等が趣味です。サッカーは苦手ですが、キャッチボールのお相手ならできるかも。

山田 由美

毎週土曜日は、町内の医療機関で看護助手として働いています。漫画・アニメ・SFが趣味です。

伊東 圭介

自宅で食べる野菜を作っています。葉山町農業委員会委員でもあるので、新規就農の相談も受けています。

窪田 美樹

介護職としての相談や、ファミサポ支援員、災害に備える団体活動を頑張ってます。元気の素はSnow Man

6月定例会議報告

6月11日から26日までの日程で、補正予算、条例改正、請願陳情など審査しました。

補正予算

歳入

地方創生臨時交付金

（令和7年度追加分）6284万円

当初調整給付の支援額に不足が生じる方への給付事業に要する経費に対し交付される。

（推奨事業メニュー分）

・学校給食費の支援 2253万円
・事業者支援　　4133万円

問　給食賄材高騰に対応するものか。
答　高騰分を当初予算に組んでいたが、国から交付されたので計上した。
問　財源入替えだけでなく葉山らしさの財源活用を。
答　高騰分は行政の責任の中で対応すべきと方針を持っている。

歳出

堀内会館再開　　11万円

問　選挙の投票所等以外は一般開放しないという考えか。
答　公的利用の限定を考えている。

「マイタンブラーキャンペーン」経費　59万円

町民や町を訪れる人へマイタンブラー利用促進をして、使い捨てカップの削減、環境負荷軽減を目指す

問　40万円売上げる根拠は。
答　エシカルパートナーとのオフ会で素材等を決め、様々な仕掛けを考えている。

物価高騰対策支援

電力、ガス、食料品等の物価高騰の影響を受けている施設等の支援

（1）高齢者・障害者施設等支援金　2121万円
（2）児童福祉施設等　　678万円
（3）病院・診療所等　　425万円

農業・畜産・水産業振興対策

価格高騰の影響を受けている事業者に対し購入費の一部補助

農業者　323万円　・　畜産業者　386万円
水産業　200万円

消防車両等整備　　△2104万円

購入予定の第5分団ポンプ自動車の無償貸付車両決定に伴う関連経費減額

住宅耐震推進　　115万円

申請件数が当初見込みを上回ることに伴う増額

問　6月の段階で耐震工事まで見込みを上回っているが取組は。
答　能登半島地震をきっかけに、一般診断が増え、結果耐震工事へ発展するケースも増えた。

町営住宅維持管理　　142万円

退去に伴う修繕及び室内クリーニング

問　補正を組むのは２件退去ということか。
答　長期在住者で修繕料が大きくなる部分と退去予定者がある。

請負契約

役場庁舎空調設備等改修工事

問　入札辞退があり結果、一者となった。一者一入札に対して、入札監視委員会等の意見を聞いては。
答　大きな自治体には設けられているが、葉山町規模では考えにくい。勿論、入札のあり方は考えていく。

招集会議報告

5月15日に開催し、陳情審査、議会議案審査、正副議長の選挙、各委員会委員や監査委員の選任を行いました。

陳情　ごみ処理基本データの定期開示と生ごみ資源化処理に伴う予算決算体系の見直しー２

委員会審査

委員から「町もデータ開示には前向きに取り組んでいる」「願意は達成されている」との意見が出され、全会一致により趣旨了承としました。

みそぎ橋橋梁補修工事第１期

問　渇水期のみ３期（3 年間）に分ける工事だが、それぞれの入札か。
答　１渇水期に全ての工事は終わらないため、1 橋脚ずつとした。業者がばらばらになる可能性があるが、しっかりと工事ができると判断している。

みそぎ橋

財産の取得

第６分団ポンプ自動車　１台

問　風水害等の出場時に適用する車両になった経緯は。
答　火災が減少傾向であり、発生が懸念される大規模災害にも備え、資器材搭載型のポンプ車とした。

塵芥収集車　２台

問　電気自動車の検討、二分割の収集車の検討はどうなったか。
答　町内走行に約50km分のバッテリー容量が必要だが、30kmしか走れない。また、槽がいっぱいになると戻ることになり見送った。

討論があった請願・陳情審査

請願　教職員定数改善の推進・教育予算の拡充を求める

委員会審査

委員からは「今まで意見書を出し続けたことが 35 人学級の実現につながった」「教員定数の増員は短期・長期の視点があるが、短期的な視点から増員に賛成する」との意見が出され、全会一致により採択し、国に意見書を提出すべきとしました。

本会議　討論

賛成（三浦）
目先の足りていない教職員を充足するためだけに定員を拡充するのはいかがか。とはいえ人手不足は喫緊の課題である。
賛成（窪田）
教員の実質定数が増えておらず、人手不足は深刻化している。子どもに豊かな学びを保障するため必要な手段だ。子どもに豊かな学びを保障するため賛成。

２つの陳情を一括審査とし、陳情提出人から意見陳述がありました。

陳情　マイナ保険証の有無にかかわらず、国民健康保険加入者全員に資格確認書を発行することを求める

委員会審査

委員から「現実的には町単独で対応することは難しい」「困っている人や現場の混乱は理解できる」との意見により、全会一致で趣旨了承としました。

本会議　討論

賛成（三浦）
理念は賛成だが意見書提出には疑問がある。

陳情　マイナ保険証の有無にかかわらず、国保加入者全員に資格確認書を発行する手続きを、行わせるための対応を求める意見書を国に対して提出することを求める

委員会審査

委員から「マイナ保険証と資格確認書の併用を求めることが可能」と採択を求める意見と「加入者全員ではなく、何か別の手段を」と趣旨了承との意見があり、賛成多数で採択しました。

本会議　討論

反対（三浦）一律送付は莫大なコストがかかる。
賛成（窪田）交付は自治事務であり、国として対応すべき。

皆さまから寄せられた 請願・陳情の審査等 委員会レポート

総務建設

委員長　荒井 直彦

陳情 日米地位協定の抜本改定を求める意見書を国に提出する事を求める

委員からは「米軍人による事故や事件が多発しているが、警察も介入できない状態であるなど、日米間で不平等な状況となっている」「現首相も地位協定は改定したいとしている。地方からも声を上げるべき」との意見が出され、全会一致により採択し、国に意見書を提出すべきとしました。

陳情 下山口茅木山の大規模な造成工事に関する陳情

委員からは「開発の中止を求めるものではなく、まちづくり条例に基づく指導を町がきちんと行うことを議会からも後押しすべき」との意見が出され、全会一致により採択しました。

造成工事が始まった下山口茅木山

陳情 真名瀬駐車場使用料の住民への夏季期間減免または補助を求める

「減免などの対応は可能であるとの確認が取れた」「生きがいミニデイサービス事業の主管課の意見も聞かず採択には至らない」との意見でまとまり、全会一致により趣旨了承としました。

真名瀬駐車場

陳情 トゥモローランドのホテル建設事業に関連する町道240号線の通行止め工事延期の陳情

「7月～8月は、人が集まる道路を通行止めにするのは町の経済面からも良くない」「住民、町、事業者との関係は良い方向に向かっているので、現段階で採択するには至らない」との意見でまとまり、全会一致により趣旨了承としました。

所管事務調査

◆葉山町都市計画マスタープラン

改定を進めており、７月～８月にパブリックコメントを行う予定です。

教育民生

委員長　待寺 真司

陳情 非常時における医療用ポータブル電源への助成を求める

委員からは「対象者にとっては生死にかかわることで、制度として整えなければならない」「国や県の補助が見込めるなら、早急な導入を求める」との意見が出され、全会一致により採択しました。

非常時医療用ポータブル電源（イメージ）

所管事務調査

◆下水道事業

●下水道料金

下水道使用料の適正化が急務となっています。検討状況の説明を受けました。

●ウォーターＰＰＰ

下水道施設の管理・更新一体マネジメントの導入に向けた検討を進めています。

葉山浄化センター

議会運営

委員長　伊東 圭介

◆通年議会移行に際して委任先決事項の指定について決定
◆葉山町議会議員の請負の状況の公表に関する条例及び施行規則の決定
◆政治倫理条例第12条の検討
◆議会BCPの基本条例への追加決定
◆議会改革検討項目の状況及び今後の取り扱い
◆議員活動実態調査の確認

議会広報

委員長　山田 由美

「町民との会議」

広聴を充実させるため、ワークショップ形式で、年2回以上の開催を目指すことに決定しました。第１回目は8月21日に予定しています。（裏表紙に記事）

「議会だより」表紙写真の公募を検討

新たな試みとして、応募要項や規約作り等の準備を始めます。

クリーンセンター再整備に関する特別委員会

委員長　金崎 ひさ

所管事務調査

◆再整備進捗状況と各取組の報告

●工事は殆どが完成し、５月１日から６月９日まで、生ごみ資源化処理施設の試運転を行いました。
●紙おむつ等対策に向けた実証実験を４月16日～６月27日まで葉桜地区で行っています。９月の定例会議で対策案を示します。

◆工事遅延に関する協議の報告

●共和化工(株)増減工事に係る増額8455万4800円が示され、担当課で精査しています。
●物価スライド等の金額変更は増減工事の金額が決定してから協議を開始します。
●逗子市との協議は逗子市副市長と葉山町副町長が窓口となり、４月から開始しました。しかし、生ごみ分別収集を開始する協議は、葉山町と共和化工(株)との協議が整ってから行うとのことです。

◆鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画

●2020年からの10年計画なので、2025年６月に中間評価を行いました。

生ごみ資源化処理施設

第2回定例会　招集会議　表決結果

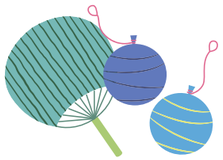
全会一致の議案等		結果	関連記事
陳情 第7-13号	陳情　ごみ処理基本データの定期開示と生ごみ資源化処理に伴う予算・決算体系の見直し-2	趣旨了承	P4
議案 第18号	専決処分の承認について（葉山町税条例の一部を改正する条例）	承認	–
議会議案 第7-7号	葉山町議会議員の請負の状況の公表に関する条例	可決	–
議会議案 第7-8号	葉山町議会基本条例の一部を改正する条例	可決	–
議会議案 第7-9号	委任専決事項の指定についての一部改正について	可決	–
議案 第19号	監査委員の選任について	同意	–

第2回定例会　6月定例会議　表決結果

全会一致の議案等		結果	関連記事
議案 第20号	令和７年度葉山町一般会計補正予算（第２号）	可決	P5
議案 第21号	令和７年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	可決	–
議案 第22号	葉山町税条例の一部を改正する条例	可決	–
議案 第23号	葉山町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	–
議案 第24号	葉山町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	–
議案 第25号	工事請負契約の締結について（みそぎ橋橋梁補修工事（第一期））	可決	P4
議案 第26号	工事請負契約の締結について（役場庁舎空調設備等改修工事）	可決	P4
議案 第27号	財産の取得について（第６分団ポンプ自動車１台）	可決	P4
議案 第28号	財産の取得について（塵芥収集車 ２台）	可決	P4
議案 第29号	財産の取得について（小学校学習用コンピュータ等）	可決	–
議案 第30号	財産の取得について（中学校学習用コンピュータ等）	可決	–
議案 第31号	人権擁護委員の推薦について	同意	–
議案 第32号	令和７年度葉山町一般会計補正予算（第３号）	可決	–
議会議案 第7-10号	日米地位協定の抜本改定を求める意見書	可決	P9
議会議案 第7-11号	教職員定数改善の推進及び教育予算の拡充を求める意見書	可決	P9
陳情 第7-14号	陳情 日米地位協定の抜本改定を求める意見書を国に提出する事を求める	採択	P7
陳情 第7-17号	株式会社三嘉を事業者とする有限会社新世工業による下山口茅木山の大規模な造成工事に関する陳情書	採択	P7
陳情 第7-18号	非常時における医療用ポータブル電源への助成を求める陳情書	採択	P7
陳情 第7-19号	陳情 真名瀬駐車場使用料の住民への夏季期間減免又は補助を求める	趣旨了承	P7
陳情 第7-20号	トゥモローランドのホテル建設事業に関連する町道 240 号線の通行止め工事延期の陳情	趣旨了承	P7

議案・請願・陳情等 ＼ 議員氏名(議席順)		三浦大輝	星加代子	笹本貢史	中村和雄	石岡実成	山田由美	金崎ひさ	荒井直彦	笠原俊一	待寺真司	窪田美樹	近藤昇一	伊東圭介	土佐洋子	結果	関連記事
議会議案 第7-12号	マイナ保険証の有無に関わらず、国民健康保険加入者全員に資格確認書を発行することを求める意見書	×討論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	–	可決	P9
請願 第7-1号	教職員定数改善の推進および教育予算の拡充を求める2026年度政府予算についての請願書	○討論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○討論	○	○	–	採択	P4
陳情 第7-15号	マイナ保険証の有無にかかわらず、国民健康保険加入者全員に資格確認書を発行することを求める陳情	○討論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	–	趣旨了承	P4
陳情 第7-16号	マイナ保険証の有無にかかわらず、国保加入者全員に資格確認書を発行する手続きを、行わせるための対応を求める意見書を国に対して提出することを求める陳情	×討論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○討論	○	○	–	採択	P4

○は賛成　×は反対　◎は提出者
※議長に表決権はありません。可否同数のときのみ議長が決します。



意見書 国へ

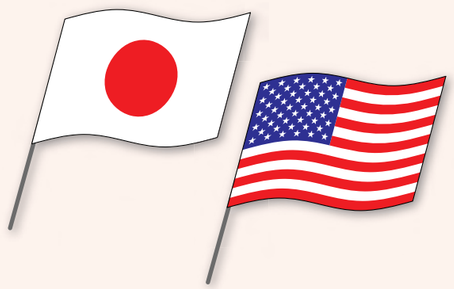
※紙面の都合上要約しています。

日米地位協定の抜本改定を求める意見書

在日米軍人等による事件や事故は、旧日米安全保障条約発効後、1952年から現在に至るまで、沖縄県をはじめ様々な場所で発生しており、国民の安心･安全が脅かされている。

これらの背景には、事件の際、日本側に立ち入り権がないことや、国内法を無視した米軍用機の低空飛行などを認める航空特例法、刑事裁判権における米軍の特権などを定める日米地位協定がある。

よって、国においては、公正･良好な日米両国の関係を維持するとともに、国民の生命･財産と基本的人権を守るため、米軍への国内法の原則適用等を内容とする日米地位協定の見直しを早急に行うよう強く要望する。



教職員定数改善の推進及び教育予算の拡充を求める意見書

1　小学校における教科担任制の実施にあたっては、教職員定数を増員し対応すること。

2　子どもが抱える多様な課題に対応するため、教育に関わる人員の拡充を推進すること。

3　教育予算充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充すること。

マイナ保険証の有無に関わらず、国民健康保険加入者全員に資格確認書を発行することを求める意見書

国は令和8年7月末までの暫定措置として、後期高齢者医療制度の対象者に対し、マイナ保険証の保有状況に関わらず、資格確認書を申請不要かつ無償で交付する運用を決定した。

市町村国保加入者全員に対しても、マイナ保険証の有無に関わらず、資格確認書を無償かつ申請不要で発行する手続きを保険者に対応させること及びそのための予算措置を講じることを求める。

町政を問う 一般質問

各議員の枠内右下にあるQRコードを読み取ると議会本会議での一般質問の動画を見ることができます。また、過去に遡った質問動画もご覧いただけます。

皆さんはどのテーマに関心がありますか？

一般質問は、答弁を含め、1人あたりの持ち時間は60分です。
掲載している内容は、質問者の原稿を基に広報常任委員会が編集校正したものです。
会議録は、議会ホームページのほか、議会事務局、図書館でもご覧いただけます。

星 加代子	ペットの避難所	P.10
石岡実成	フリースクール	P.10
荒井直彦	修学旅行	P.12
待寺真司	小中一貫校	P.12
山田由美	開発	P.12
中村和雄	まちづくり条例	P.14
近藤昇一	南郷の交差点	P.14
三浦大輝	花火大会	P.14
笹本貢史	障がい者の就労状況	P.16
笠原俊一	葉山に駅	P.16
窪田美樹	フリースクール	P.16
金崎ひさ	生ごみ分別	P.18
伊東圭介	町が結んだ協定	P.18

星 加代子

民間の力を借りたペット連れ専用避難所を

総務部長
共助で自主運営できるよう支援の形を検討する

問 民間の寺院の協力のもと、地域住民が主体となったペット連れ避難所の設置のため、ルールと管理体制の充実を。

総務部長 様々な課題の可能性を鑑み、訓練などを通じて、町としての関わりを検討する。

共助を促進する人材育成

問 防災関連の資格を取得する費用を助成し、災害対策の学習意欲を促進すべきでは。

総務部長 自主防災リーダーを含め、有資格者にどのような活躍の場があるか研究する。

リトルベビーハンドブック

問 日本の低出生体重児の割合は、約10人に1人。不安を抱える母親への支援は。

福祉部長 出生届時にヒアリングを通して県のリトルベビーハンドブックを配布している。

問 ハンドブックの情報発信を強化しては。

福祉部長 速やかに町のホームページに掲載し、案内する。

帯状疱疹ワクチン定期接種

問 高齢者の帯状疱疹ワクチン予防接種費用助成は65歳以上に5年おきだが、92歳の方からご相談があった。この方の場合は95歳になるまで待つしかないのか。

福祉部長 国の予防接種法の定期接種が5年おきになっている。定期接種以外の場合、補償制度が異なるため、まずは定期接種の対象者からスタートしていく。

熱中症対策

問 猛暑、災害時を見据えた上で学校体育館の空調設備は喫緊の課題だ。国が特例交付金を創設し、設置の加速化を進めているが。

教育部長 学校再整備計画とあわせ、既存の学校の体育館空調をどうするか検討する。

その他の質問 猛暑を見据えた環境対策

民間の寺院でのペット避難訓練

石岡実成

フリースクール利用者支援は「やる」ということでいいか

教育長
スキームはこれからだが、事業化する方向で進めていく

問 フリースクール利用者への支援制度は、県の補助事業を利用し、令和7年度中に実施に向けて答えを出す時期ではないかと思うが。

教育部長 県下での取組を踏まえながら、いよいよ事業化ということを、しっかりと視野に入れて取り組んでいきたいと思っている。

問 それは「やる」と認識していいのか。

教育長 スキーム等はこれからだが、なるべく早目に事業化する方向で進めていく。

問 不登校対策は、子どもまん中社会の実現に向けて、町側の担当課としても、しっかりと関わっていく必要があると考えるが。

福祉部長 勿論、協議、連携しながら、しっかりと関わっていきたいと思っている。

上山口の棚田の支援

問 葉山を代表する景色として名高い上山口の棚田も、後継者問題や環境改善など、民間の有志作業では維持できなくなってきている。今後は、町としてこうした団体を支援しながら一緒に守っていってほしいと思うが。

都市経済部長 まずは具体的に話を伺ったうえ、国・県にも相談しながらしっかり応援していきたい。

エシカルはやま

問 町の示す方向性として、今一度、庁舎内の意志統一を図るべきでは。

政策財政部長 議員の提案通り、幅広く協議を重ねて、改善に向けて取り組んでいきたい。

協働を後押しする町ホームページの改善

問 町民参加を促すような、参加可能な会議の情報やアーカイブの開示をしてほしい。

政策財政部長 ぜひ前向きに検討する。

その他の質問 学校給食時間・教育の環境整備

自作のプレゼン資料

荒井直彦

葉山中学校の修学旅行が4年に一度、土日に開催されるのは避けられないか

教育長
その経緯があり、4年に一度は、回ってくる実態

問　今年も葉山中学校が4年に一度の繰り返しで土日開催になった。過去の修学旅行の反省を踏まえて教育委員会としては、どのように思っているのか。今後の対応を伺う。

教育長　修学旅行に関しては、小学校と中学校、学習の目標も違う考え方をもって動いている。神奈川県は特別で、神奈川県中学校校長会の中に委員会があり、校長先生が持ち回りで各地区との調整いわゆるJRの折衝を行うため、その経緯で、どうしても、4年一度は回っている実態である。また、旅行会社に委ねれば、日程は希望通りになるが、料金の割引率等々が上がり、費用の高騰に繋がってしまう。

問　土日に民間のクラブの活動に参加するか、修学旅行に参加するかを選択することを生徒に判断させない方が良いのでは。

教育長　過去の経験では、高校の場合は土日を外している。今後、南郷中に関してはもう一度考え方を整理した上で、まだまだ検討の余地はあると思っている。どんな方向性になるか、改めて報告する。

問　葉山町立小中学校における落雷事故防止の対策は。

教育長　事前に気象情報を確認するとともに天候の急変にもためらうことなく中止や適切な措置を講ずるように指導する。

ヤンバルトサカヤスデ対策

問　今後、町が推進していくヤスデ対策は。

環境部長　町民生活の影響を最小限抑えるため、引き続き、調査研究を重ねていく。

その他の質問

問　葉山町立小学校の運動会の開催日

葉山中、南郷中のホームページ

待寺真司

1校先行整備の構想だが後発校もあるのか

教育長
児童・生徒数や出生数の変化を見極め方針を公表する

問　学校整備基本構想では「児童・生徒数の激減対応型小中一貫校の1校先行整備」との記載で、後発校もありきの構想と認識するが。

教育長　令和11年度までの5年間の児童・生徒数や出生数の変化を見極め、1校先行整備した後の学校の方針を改めて公表したい。

問　新設の義務教育学校開校予定の令和15年度には1798人の見込みで、各学年6クラスが必要だが、上限を45学級とした理由は。

教育長　葉山小学校地の建蔽率40％で、建築物の延べ床面積が上限に達しているためだ。

問　構想の各階平面計画に示されている体育館を、例えば葉山中学校体育館をリノベーションすれば、当初より1校整備で進めて、各学年6クラス54学級を配置することができ、図書館機能や学童クラブの充実も可能だが。

教育部長　児童・生徒数の減少を見極めるため、令和11年度までの5年間の実績ベースを見た上で、指摘された様々な問いかけに対して、明確な方針を示すことができると考える。

安全安心のまちづくり

問　被災住家の罹災証明の交付は、被災者の生活再建の第1歩となるため、発行の迅速化と精度が求められている。現在の検討状況は。

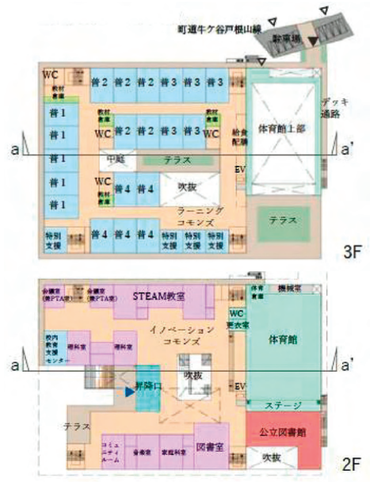
総務部長　事務手続きの簡素化・デジタル化を図る。研究を進めてお り、令和11年度までの5年間の実績ベースを主眼にシステム化を図る。研究を進めてお り7月早々に横須賀市のシステムを見に行く。

問　狭隘道路解消に向けた取組の進捗は。

都市経済部長　具体的な制度設計に向け関係各課と調整を図り、早期実現を目指している。

問　木造住宅グレーゾーン（昭和56年6月以降平成12年5月）への補助対象拡大実現を。

町長　財源的な問題もあるが覚悟を持って向き合う大きな課題で、早期に取り組んでいく。



新設校の各階平面計画案

山田由美

下山口の開発について、事業者に聞き取りを要望するはずだが

環境部長
情報の提供を断られた

問　下山口の開発について、事業者が県に提出した書類に大きなミスがあったことが、近隣住民の指摘で発覚した。土砂の搬入量に関わることだ。県は事業者に、再提出するよう指導してくれた。町としても、事業者に聞き取りを要望するはずだが。

環境部長　事業者から情報の提供を断られた。

問　事業者は「搬入の記録がないので、記憶で県への報告を作成した」と説明した。今後、この事業者には、警戒心を持って対応していただきたいが。

都市経済部長　条例に沿うよう指導する。

問　一色平松の開発について、環境課の所有する崖が流水でえぐれた問題は。ここ2年の変化なので、開発との関りがあるのでは。

環境部長　開発との因果関係は、判断が難しい。事業者とは協議をしている。

古本の活用

問　町民から古本の寄附をつのり、換金して図書購入にあてたり、使える本を学校内に配置したりしてはどうか。鎌倉市教育委員会は、ブックオフの事業者と連携した。

教育部長　選書や事務負担等、課題がある。

町及び関連団体への匿名寄附

問　個人の場合は匿名でも構わないが、企業や団体からの寄附は、企業名や団体名と金額を公表するべきではないか。

政策財政部長　今後は、非公表を希望する場合、理由を明記していただくようにしたい。

問　公表を断る理由について、町の想定は。

町長　税金対策や株主対応、他団体との公平性等の問題があるのではないか。

問　企業・団体からの匿名寄附を断ることは。

政策財政部長　想定していない。

土砂搬入直後の下山口開発予定地
（2024年4月）

中村和雄

但し書き適用の基準がないことが指導を困難にしているのでは

都市経済部長　事業者指導について、あるべき形を議論している

問　まちづくり条例の但し書き適用の基準がないため「拡幅できません」という業者の言い分が通ってしまう。条例の設置目的を含め町民が納得できる基準を設けて、業者指導できるようにすべきだが。

都市経済部長　幅員の狭い道路は防災上の問題もある。開発事業者の協力が得られるよう、指導の流れやあるべき形を議論している。

問　訴訟になってもいいくらいの覚悟で取り組んではどうか。

町長　訴訟という状態に町をおくべきでないと考えているが、現在訴訟になっている案件があるので、町民の気持ちや民主主義のあり方、地方自治の本旨を、強く訴えていく。

小中一貫校の整備

問　近年の急激な人口減少、日本経済の低迷、大赤字の国家財政を考えたら、2校整備でなく1校整備で、それもできるだけ早く進めるべきだと思うがどうか。

教育部長　1校整備が視野に入るくらい人口減少が加速。財政不安があるが、議員懇談会で示した内容をもとに事業化を進めたい。

会計年度任用職員制度

問　「1年更新の悲痛、声を上げられぬ非正規公務員」という見出しの新聞記事があった。葉山町の現状はどうか。

総務部長　93人が配属されている。任期が近くなったら、次の任期にどうなるか示すなど、不安払拭を心掛けている。

人事権の行使

問　人事の原案作成は、基本、事務方が作成すべきと考えるがどうか。

町長　人事は辛い作業だが、情報を積み上げつなぎ合わせながら行っている。

小中一貫校のイメージパース

近藤昇一

渋滞解消のため、南郷交差点の改良を県に求めるべきでは

都市経済部長　要望していく

問　南郷トンネル入り口での渋滞解消のために、南郷交差点の改良を県に求めるべきでは。

都市経済部長　提案を県に伝えた。県は北側トンネル開通で渋滞が解消するとしている。

問　トンネルの開通を待たずに、南郷交差点の改良で渋滞の解消が図れるのでは。

都市経済部長　県に状況を説明し要望する。

まちづくり

問　一色平松の開発予定地に隣接する町有地が地下水の湧水によって削られている。町に対応を求めたがその結果は。

環境部長　開発予定地の事業者と話し合っている。工事を行う場合には住民にも説明する。

問　下山口茅木山の山林伐採は風致地区条例に違反しているのではないか。

都市経済部長　管理伐採なので違反ではない。

問　管理伐採と伐採の基準はあるのか。

都市経済部長　基準はないが、検討したい。

問　下山口の土地埋立について「葉山町土地埋立等の規制に関する条例」に抵触する可能性があるにもかかわらず、何ら調査しなかった。県環境課は土量の調査などを聞き取りしている。なぜ葉山町は動かなかったのか。

環境部長　県が最初に動いたのは認めるが、町も立ち会っている。

問　ここの土地は現在、雑草が繁茂している。町には「空き地に繁茂した雑草等の除去に関する条例」があり、適用されるのではないか。

消防長　町民から相談もあり、指導を行っている。夏場の様子を見て再度指導を行う。

問　町道240号線の通行止めについて、陳情が出され、趣旨了承した。町の対応は。

都市経済部長　夏場の工事をやめて、陳情の要求に沿った解決をした。

改良が求められる南郷交差点.

三浦大輝

花火大会の今後の開催方針は

町長　葉山の文化として守っていきたい

問　花火大会の規模の縮小で戸惑いがある。今後の開催方針は。

町長　文化として変革しつつ守っていきたい。

ごみ処理新体制

問　「生活環境」の視点ではなく「ごみ総量ベース」で収集回数を決めるが基本の考えか。

環境部長　そういう理解でよいかと思う。

問　紙おむつ課題の対応策について進捗は。

環境部長　紙おむつの拠点回収ボックスの設置か、個別対応するのか、結論が出ていない。ペットシーツの対策の必要性も感じている。

問　判断軸に経済性、環境負荷、福祉的視点があるが、どこに重きを置いているのか。

町長　総合的に判断する材料として考える。

子育て・学校整備

問　葉山の子育て環境が、移住や定住にどう結びついているかの分析をしているのか。

福祉部長　定量的な分析はできていない。

問　保護者アンケート調査では、子育て環境に「満足度が低い」との回答が全体の30％を超えている。独自の施策も検討すべきでは。

福祉部長　まずは国からの事業を進めていく。

問　約200億円の事業費を投じる学校整備事業こそ、説明責任が伴う。人口流失抑制や定住促進等、税収増に繋げる政策的波及効果の視点も持ち、ビジョンを掲げるべきでは。

町長　人口増は難しい課題であり、子どもが何人生まれた、何人移り住んだということより、まず町としてベストを尽くしていきたい。

環境保護

問　今後、山林等でメガソーラー開発行為があった場合に、どう向き合っていく考えか。

町長　森林を伐採しての設置はやめていただきたいとの強い思いがあり、対抗していく。

試験運用される
紙おむつ専用回収ボックス

笹本貢史

町の障がい者の就労状況は

総務部長 町役場は一般の法定雇用率より上回る

問 町役場が葉山町最大の事業主であるが、法定雇用率を満たしているか確認する。

総務部長 本庁は公共事業所であり、一般の法定雇用率より上回った状況を維持している。

問 一般就労に困難を感じながら障がい者枠等で採用されない方への支援はしているか。

福祉部長 その調査はしていない。しかし、常時雇用者100人未満の事業主に対し、町独自の雇用報奨金支給事業を展開している。

個別避難計画

問 計画策定は法的には努力義務であるが。

総務部長 状況に合わせた専門家の意見、福祉部局と防災部局の連携により策定している。避難時の的確な対応が一番大切である。

人口減について

問 経済的課題もあり少子化は避けられない傾向であるが、食い止める策はあるか。

福祉部長 経済的支援として、妊婦のための支援給付、児童手当の引き上げ、子どもの医療費助成、また国が行った幼保無償化、認可外保育園の保育料助成等、子育ての負担を減らし「子どもを産みたい」という気持ちになっていただくよう、国、町共に進めている。

問 経済的負担でいえば、国民健康保険料は町も関わっているが、下げる方策はないか。

福祉部長 減免等の努力をし、県下では下から3番目の料率であり、ご理解いただきたい。

無電柱化

問 町の無電柱化の進捗状況について。

都市経済部長 県の無電柱化推進に連携するかたちで、町の無電柱化計画を12月の国・電力事業者等による協議会へ上程できるよう策定を進める。

町が無電柱化計画策定中
（葉山消防署付近）

笠原俊一

葉山に駅がないことの良否は

町長 駅がないからこそ葉山の良さが守られてきた

問 葉山には駅がない。町長はこの良否をどう思うか。

町長 今の葉山の良さが守られてきたことを思うと駅がないことが良かった。交通の不便さはあるが、町の良さが子どもを育てる親としても良かったと考える。

交通計画

問 逗子高校の跡地の京急バスへの譲渡記事は、中央道路の延伸とあわせた葉山の新バス路線構想につながる計画なのか。

町長 南郷トンネル北側区間は県の道路整備の一環で、南側延伸の国際村B・C地区の都市計画はあるが、工事着工情報のない現段階では全て別個のものと考えている。

政策財政部長 現段階で正式に把握している情報はない。

高齢者利便向上

問 日々の消費生活の面からの高齢者世帯数を把握しているか。

政策財政部長 令和2年の国勢調査では、65歳以上のみの世帯が3892世帯。全世帯の約30％という結果が出ている。高齢者638人からのアンケートで、運転免許証なしが約3割、80歳代は約8割がない。

福祉部長 令和5年の調査で高齢者1万201人中の要介護認定を受けていない3千人を抽出してのアンケートでは、88・1％の方が自分で買い物をしている。

問 地域公共交通会議でスーパーの買い物バスが役場を中継する案はなかったか。

政策財政部長 会議の中ではないが、このような提案は直接政策課の方にきており、実施の方向で検討したい。

お店が遠くて大変

窪田美樹

フリースクール等へ通っている家庭への助成制度の確立を

教育部長 学びの多様化を慎重に検討し協議に入っている

問 県がフリースクール等へ通っている家庭への助成を始めたが、自治体の制度が必要だ。町は制度がない。早急に助成制度の確立を。

教育部長 町として、学びの多様化をどこまで広げるか慎重に検討し協議に入っている。

問 ファミリーサポートは資格を持つ有償ボランティアが預かる。利用料は以前から同じ。利用料補助や報酬を公費で上げる考えは。

福祉部長 開所時から1時間の利用料700円だ。研究を進めより良い制度にしていきたい。

ごみ収集

問 高齢者のおむつごみ対応に社協の介護用品支給事業対象者に声を聞いては。

環境部長 排出量の多い世帯に直接聞き取りを行い、対象世帯の絞り込みを行いたい。

問 生ごみ量が少なく週1回でも大丈夫という声も聞く。夏期のみ週2回等様々な研究を。

燃やすごみ週1回で1回の量が増え収集車が戻れば、環境負荷等課題がでる。状況は。

環境部長 状況把握しておらず後日報告する。

地域公共交通

問 はやまるタクシー利用率向上に、モニター制度導入や説明会で無料券を配布しては。

政策財政部長 多角的に取り組んでいきたい。

問 地域公共交通会議では、交通不便地とする上山口・木古庭地域の話がでない。対応は。

政策財政部長 実証実験後、検証し再考したい。高齢者にはおでタク券を配布している。

問 上山口・木古庭地域在住者にも配布枚数は同じだ。数年後の結果を待たず別の対策を。

政策財政部長 「はやまる」と自宅との連携等、町トータルの公共交通施策を考えている。

問 おでタク券を1度に複数枚使用可に。

福祉部長 アンケート調査を考えている。

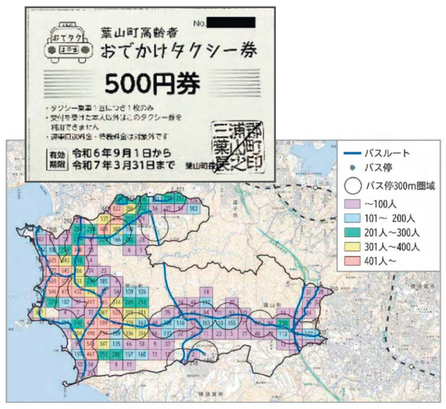


図　町内のバス停300m圏域と250mメッシュ別人口

上山口・木古庭地域に対策を

議員懇談会

以下の内容について、町から説明を受けました。

6月20日

●スポーツ親善振興事業
酷暑のため、草津町との交流事業の日程を夏から10月へ変更する。

●「公共施設等将来構想」「財政シミュレーション」「中期財政見通し」の公表
莫大な費用のかかる小中一貫校の整備が含まれるので、町民にも意見を求め、検討を続けていく。

●民泊・簡易宿所検討会議
「レスポンシブルツーリズム（責任ある観光）」の観点から、町の担当課と鎌倉保健福祉事務所、葉山警察署等で検討会議を設置した。

●「ミューシー」との連携協定締結
葉山町ＰＲ大使として、今後も町主催のイベント等への出席をお願いする。

ミューシーが葉山町 PR 大使に

「町民との会議」の申し込み方

議会では「議会報告会」のほか、町民の方や団体の方々との懇談の場を設けています。
議会事務局へご相談ください。

TEL. 046-876-1111

過去の意見交換会

9月定例会議は9/3-10/8の予定です。

議案審議	総括質問	一般質問
9/3（水） 10/8（水）	9/9（火） 9/10（水）	10/6（月） 10/7（火） 10/8（水）

各常任委員会		決算特別委員会	
9/3（水）	9/24（水） 9/25（木） 9/26（金）	9/11（木） 9/12（金） 9/16（火） 9/17（水）	9/18（木） 9/22（月）

クリーンセンター再整備に関する特別委員会	議会運営委員会
9/29（月）	9/30（火）

スケジュールは変更になる可能性があります。
また、一般質問は質問者数によって日程が変動します。
詳しくは議会ホームページにてご確認ください。

伊東圭介

町が締結している「協定」の点検・見直しをすべきではないか

町長
必要性を感じている

問 町が民間企業等と締結している協定が形骸化してないか、改めて協議の場を設けて点検・見直しをすべきではないか。

町長 多様化する行政需要への対応も必要であり、有効性・実効性の観点から協定内容の点検・見直しや意思確認が必要と感じている。

問 特に現場の担当者への周知が重要な見守りに関する協定による孤独死の通報の実績は。

福祉部長 令和6年16件中、4件は、協定を結んでいる事業者からの通報で発見している。

公共施設のLED化

問 2027年末に蛍光灯の製造・輸出入が禁止される。公共施設を早急にLED化する必要があるが。

町長 役場庁舎は、ほぼ完了。他の公共施設については、所管課で予算計上し、期限を見据えて計画的かつ効率的な導入・転換をする。

防災行政無線の再整備

問 現在のシステムは、2029年5月末でサービスが終了する。2014年にデジタル化し導入後、11年しか経過しておらず納得がいかない。新システム導入計画を伺う。

総務部長 指摘のようにサービス終了になることは想定外である。今後の新システム導入に向けては、専門家の支援に加え、他自治体とも情報交換をする中で慎重に選定していく。

不登校生徒・児童の健康診断

問 健康診断は法により実施義務が定められているが、不登校生徒・児童の対応を伺う。

教育部長 在籍校から日程等の連絡はしている。また、学校医の協力で直接医院で健診してもいただいている場合もあるが、すべての健康診断項目を受けていない子どもが実際にいるのも事実である。

郵便物の溜まったポスト

金崎ひさ

生ごみを包んで出す袋の処理費は

環境部長
積算していない

問 生ごみを包む袋は焼却をし、その処理費もかかる。エシカルとは相反すると思うが。

町長 使わなくてもよいプラスチックは極力使わないようにしたい。

問 生ごみは生分解性袋を使うべきだ。色違いにして、燃えるごみと同時に週2回の収集が合理的だ。課題となっているおむつ、ペットシーツ等の臭気ごみの対策はどうするのか。

環境部長 臭気ごみ全般の対応を図る。

問 逗子市の生ごみ分別は町と共和化工（株）の協議が整ってからとのことだが。

副町長 早く入れて欲しいと要望している。

開発

問 一色平松の開発では水みちが変わり、えぐれた第4汚水処理場の法面の対応は。

環境部長 業者からはまだ返事がない。

問 茅木山開発でも水が出るとのことだが、タイミングをみて調査して欲しいが。

都市経済部長 雨が降ったら現場を確認する。

問 山の一角がマッチ棒を刺したように木が伐採されている状態を「管理行為」と言わざるを得ない状況を阻止する方策は。

町長 今後、業者と課題意識は共有する。

問 道路拡幅は、しっかりと指導して欲しい。

都市経済部長 常に課題となり、何とか次なる手を考えなければならないと認識している。

教育

問 町立保育園の園児にネイティブな英語に触れる機会を。

福祉部長 日本語の発達を促すことが不可欠だが、遊びの中には少し取り入れている。

問 分離型小中一貫校を始めたが、児童生徒にそれを自覚させる企画は。

教育部長 教員間の交流にとどまっている。

生ごみ排出用プラ袋　焼却処分に

議会だより　161号

発行／葉山町議会　〒240-0192　神奈川県三浦郡葉山町堀内2135
編集／議会広報常任委員会　発行日／令和7年8月2日　TEL.046-876-1111

議会主催

ワークショップのお知らせ

2月2日のワークショップの様子

日　時　8月21日(木)　19時～20時30分

場　所　教育総合センター会議室（町役場横）

申し込みは不要ですので、お気軽に会場へお越しください。

手話通訳が必要な方は、事前に議会事務局にお申し出ください。
悪天候等で延期の場合は町のLINEでお知らせします。

町長行政報告

令和5年9月、元町民から提訴された10万円の慰謝料を求める損害賠償請求事件は、6年12月に鎌倉簡易裁判所で「棄却」の判決が出されましたが、7年1月3日付けで、横浜地方裁判所に控訴状が提出されました。町としては、控訴人の主張には理由がないことから弁論の準備を進めているところです。

議会のライブ・録画中継は
スマートフォン、タブレットでも
視聴できます。

議会ホームページのトップの
Googleカレンダーから、
最新の議会日程が確認できます。

録音版議会だより♬

議会だよりは音声データを作成しています。
ご希望の方は議会事務局までご連絡ください。

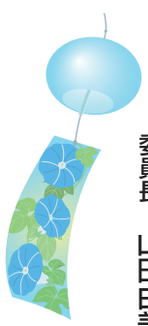
編集後記

世界情勢の悪化が心配ですが、それにつけても、国民の政治への関心が重要だと痛感しています。

今回、初めて広報の委員長に就任しました。責務に冷や汗をかいていますが、これから2年、委員会と事務局の力を合わせ、議長や他議員の協力も求め、広報広聴を進化させたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

皆さまからは「議会だより」や議会について等、ご意見をお寄せ頂ければ幸いです。8月の「ワークショップ」にも、議員との親睦という意味合いで、気軽にご参加下さい。「町のことをよく知らない」「議員の知り合いもいない」という方こそお待ちしています。

委員長　山田由美



議長　土佐洋子
議会広報常任委員会
山田　由美　　金崎　ひさ
笠原　俊一　　荒井　直彦
笹本　貢史　　窪田　美樹
中村　和雄